

らいふ

2016.7 No.70



「五色ヶ原 お花畑とトムラウシ山」 土門 勝利

●わかりやすい医学教室(呼吸器内科)

「気管支喘息について」

●もっと知りたい

「血液浄化室の紹介」

●がんサロン「いずみ会」のお知らせ

●歯科シリーズ

ホームページ

<http://www.ojihosp.or.jp/>

＝ 医療法人 王子総合病院理念 ＝

「私たちは、みなさまの健康、医療、
介護を信頼と愛情で支えます。」

王子総合病院理念

みなさまの人格を尊重し、安全で最善の
医療を提供します。

基本方針

1. みなさまの意思（自己決定権）を尊重した、安全で信頼される医療の提供に努めます。
2. 地域基幹病院として、職員の研鑽に努め、人間愛に満ちた高度な総合的医療の提供に努めます。
3. 地域住民や医療機関との連携を緊密にし、地域の医療、福祉、保健の向上に努めます。



医療法人 王子総合病院

わかりやすい医学教室

特集

気管支喘息について

呼吸器内科 中村 順一



中村 医師

喘息の認識は紀元前から

今回は成人の気管支喘息についてお話ししたいと思います。皆さんは気管支喘息と言われて、どんな病気を思い浮かべるでしょうか？ ゼーゼー、ヒューヒュー、苦しそう…。文字通り、息が喘（あえ）ぐ病気ですので、息が苦しくなる、咳が止まらない…などの症状が出るが多く、古くは紀元前から認識されていた病気と言われます。しかし喘息がどのような病気なのかが解明されてきたのは1900年代のことです。喘息患者さんの体の中では気道（空気の通り道）が慢性的に炎症（イメージとしては、気道が荒れている状態。腫れて、赤くなつて…というような）を起

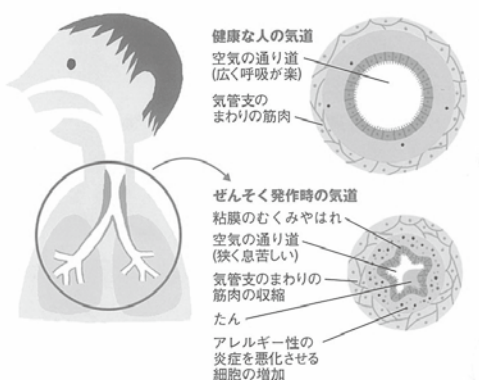
こしている状態になっています。そのため、空気の通り道である気管支が狭くなつて息を吐きにくい、息が苦しい、また気管支が過敏になり咳が出るなどの症状が出てきます。ですので、喘息治療の目標はこの「気道の慢性的な炎症」を抑えることにあります。

元通りには修復されない

現在でも喘息患者さんの数は減つておらず、日本の人口の6～10%くらいと言われています。喘息患者さんが発作（気管支の炎症が強くなり、気管支が痙攣したりして非常に狭くなつて咳や呼吸困難が強くなった状態）を起こすと気管の粘膜が一時的に破壊されます。そこが破壊されたままだとまづいので次第に修復されますが、このことを「リモデリング」（再構築）と言います。しかしこの二連の過程が起これば、きには完全に元通りになるわけではありません。一部が硬くなつ

たり粘膜が厚くなつたりと、体に不利なように修復されてしまうのです。なので発作が起これると気道のリモデリングが起これる、すると喘息の治療薬が効きにくくなり発作が起これやすくなる、発作が起これるとさらにリモデリングが進む…という悪循環になってしまいます。ですので、発作を起こさせない、ということが重要です。治療の進歩によって喘息発作による死亡者の数は減少してきていますが、まだ年に約1700人が亡くなつていと言われています。

図 1



健康人と喘息発作中の患者さんの気管支の違い
(佐野虎ノ門クリニックホームページより)

症状などで総合的に診断

では喘息の診断についてなのですが、重要なのは症状になります。ただ、明確な基準が存在するわけではないので、症状がどのくらい喘息の特徴に合致するか、により総合的に判断します。喘息の症状は発作性の呼吸困難、喘鳴、咳などです。それらの症状が運動や寒気、笑い、アレルギー物質などにより誘発されたり、夜間や早朝に増悪することが多かったり、風邪などのウイルス感染などにより増悪するなどの特徴を持ちます。逆に言えば喘息患者さんはこのような症状を起こしやすく、風邪などを引いたときに症状が増悪しやすいです。ですのでこのような特徴を持つ症状があるようであれば喘息の可能性があるといえます。また、「ゼーゼー」や「ヒューヒュー」という発作が起こるようであれば喘息の可能性は高くなります、検査では、アレルギーの検査をし

たり、呼吸機能検査で喘息の特徴があるかどうかを調べたり、気管支拡張薬で気管支が広がるかどうかを調べたりすることがあります。

重要な「吸入ステロイド」

では、喘息の治療についてです。治療は、前述のとおり気道の慢性的な炎症を抑えること、発作を起こさせないこと、が目標になります。その中心的な役割を担うのは「吸入ステロイド」です。吸入ステロイドによって気道の炎症を抑えることによって症状や発作のリスクを軽減することができます。この薬がなければ喘息の治療は成り立たないと言っても過言ではありません。内服薬や点滴はあくまで補助的なものと考えてください。今は吸入ステロイドと気管支拡張薬の配合剤も広く使われていますので、きちんと治療を行えばほとんどの場合症状は軽快します。しかし「軽快する」のでそれ以降の治療を継

続する必要性が理解しにくいのがこの病気です。良くなったからといって吸入を止めていいのかというと、答えはNOです。発作の後には前述のようにリモデリングが起り、発作が起こりやすい状態になっていますので、症状が改善したからと言ってすぐに吸入をやめてしまうとまた発作を起こすリスクが高い状態になってしまいます。そうすると気管支の状態はどんどん、少しずつですが悪い状態になってしまふのです。ですので、「飲み薬があるから吸入はしない」や「良くなったからもういい」などとは言わずにきちんと、担当医と相談しながら症状に合わせて治療を続け、治療を緩めるタイミングも考えていくことが大事です。また、たばこを吸っている喘息患者さんはたばこをやめることが大事です。たばこは喘息増悪の原因になるだけではなく、吸入ステロイドも効きにくくしてしまいます。他の様々な病気のリスクにもなります。

困った時は当科に相談を

ここまでざっと喘息のおおまかな特徴に関して概説しましたが、少しでも病気の理解につながれば幸いです。また長く続く咳から喘息の診断に至ることは多いですが、咳の原因は非常に多彩です。お困りの際は当科にご相談ください。



お知らせ

『らいふ』に掲載されたわかりやすい医学教室は、王子総合病院のホームページで見ることができます。

「血液浄化室」の紹介

血液浄化室看護師長
千葉 美子

も

つ

と

!!

知

り

たい

い

●スタッフ紹介

血液浄化室担当医師7名・室長吉田医師・臨床工学技士16名(うち、血液浄化室担当6名)・看護師18名・看護補助者3名で構成し対応しています。



平成27年5月、王子総合病院南棟増築着工。
血液浄化室は、平成28年3月7日に南棟へ移設しました。

新しい血液浄化室では安全で快適な透析治療を行う目的で透析管理システムを導入して、患者情報・治療情報・検査データを一元管理し、質の高い透析医療を提供しています。電子カルテや透析関連機器との連携、体重計との連動により、透析装置画面での各種透析条件の設定、RO装置、透析液供給装置のモニタリングができ、より安心して透析治療を受けていただくことが可能となりました。

新しく導入した透析機器や透析に使用する水の管理方法、さらに内装や使用物品など、様々な点に関して病院担当者・看護師・臨床工学技士や看護補助者で検討とシミュレーションを繰り返し行いました。
感染・記録・業務改善・看護方式の4チームに分かれて多角的に現状分析と検討を重ね、患者さんにもさら豆新聞や号外(壁

●血液浄化室のビジョン

透析患者さんを多職種で支える

協働することでそれぞれの領域を超えた最大限の力が発揮できる

お互いを思いやり尊敬し合える心も自然に芽生え質の高いチーム医療が提供できる

やりがいにつながる

●コンセプト

「輪になって、透析患者さんに寄り添い支える!!」
とし、心を込めて安全で・安心な透析治療が提供できるよう日々研鑽しています。

●鍵になる言葉

「みんなで輪になって・互いに和む・この場でわらう」
いろんなことがわかる

新聞)を通して、情報を流し協力していただきました。

以前は、体重測定順番は、時間の区切りはしていましたが体重計の前に並んだ順番で測定していました。また、穿刺する順番も決まりがなかったため不公平感がありました。ベッドは固定ではなかったため、その日によってベッドが違うことが多かったので不便をおかけしていました。

新血液浄化室ではベッドは患者さんごとに固定とし、穿刺順も1番ベッドから行なった翌月は30番ベッドからとしました。また、家族

やボランティアの方が送迎される場合は、できるだけ同時に治療できるように工夫しました。



体重測定は患者さんを1人ずつお呼びしてフルネームを名乗っていただいた後、フェリカカード(患者カード)で患者確認をしています。さらに、体重計が0(ゼロ)であ

ることを確認してから測定し、正確に体重を量っています。

体重を量ると透析装置に自動送信・自動計算され、スタッフが確認を行なってから透析が開始されます。また、ベッドの間隔も広くなり、陽光も入り明るい雰囲気です。

透析を行なっている患者さんは、余儀なく透析を行うようになつてからずっと治療を続けなければいけません。私たち血液浄化室のスタッフは、部署のビジョンのもと力を合わせて、できるだけ明るい環境と安心な治療が提供できるように努力を続けていきたいと考えています。

●治療内容

- ・急性腎不全の透析管理
- ・慢性腎不全の導入と維持透析
- ・合併症を有する患者さん(心臓手術・整形外科手術・眼科手術)の入院中の透析
- ・その他の血液浄化法
血漿交換・顆粒球吸着法(GCAP)、LDL吸着法
- ・末梢血幹細胞採取。

●透析とは

二つの濃度の異なる液体を、ごく小さな穴のあいた膜(半透膜)で仕切り、この穴を通ることのできる分質が濃度の高い方から低い方へ移動する拡散と、液に圧をかけて物質を移動させる限外濾過によってなされます。

●血液浄化とは

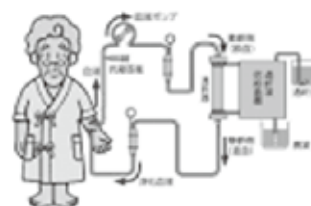
体液の是正、原因分質の除去を目的とする治療法で血液透析をはじめ、血漿交換、吸着療法などの体外循環法です。

●透析療法の目的と方法

尿毒性物質や余分な水分の除去と、体内に不足している物質(カルシウム、アルカリ化薬)を補うために、血液を体の外部にある透析器(ダイアライザー)へ導き、浄化された血液を体に戻す「血液透析」と、患者さん本人のおなかの中の腹膜を透析膜として利用する「腹膜透析(CAPD)」があります。

●血液浄化室のベッド数

ベッド数は30床。透析患者さん約95人に対し、2部制(日曜日を除く毎日)で主に人工透析を行っております。



がんサロンいずみ会のお知らせ

「がん患者交流サロンいずみ会」は

- ・ 対話を通し、不安や悩みを緩和する場所
- ・ 患者・ご家族同士が、親睦を図る場所
- ・ がん医療に関する情報交換が出来る場所

がん治療を行う患者さんやご家族が集う会です。

がん医療に対する情報交換や、同じ境遇の方々との対話を通し、よりよく過ごすきっかけを見つけませんか。

時 間▶13:30～15:00
(開場13:15～)

場 所▶王子総合病院
がん相談支援センター

参加費▶無料

※直接開場にお越しください。

お問い合わせは

電話**0144-32-8111**(内線263・390)

がん相談支援センターまで

開 催 日	ミニ講座と交流会を組み合わせで開催
8 月 9 日 (火)	がんの痛み ～痛みを上手にコントロールしよう～
9 月 13 日 (火)	病気を知ろう！ ～肺がんについて～
10 月 11 日 (火)	術後リンパ浮腫 ～セルフケアを学ぼう～

「がん相談支援センター」 「がん看護相談」をご活用ください

当院はがん拠点病院として、がんに関する情報提供、相談を行っています。

センターでは、がん医療に詳しい認定看護師や生活全般の相談ができるソーシャルワーカーが相談員と

して対応しています。相談方法は面接、電話を問いません。

患者さまやご家族のほか、地域の方々はどうなっても無料でご相談できますので、ぜひご利用ください。

がん看護相談(月～金)

相談時間▶10:00～11:30
13:30～14:30

がん相談支援センター(月～金)

相談時間▶8:30～16:50
電話:0144-32-8111(内線263・390)

歯みがきは歯垢を取ることで、歯垢が落ちるので強くこするのは皮膚に良くなく、洗い流すくらいでいいのですが、歯垢と表現された細菌の塊は自然に剥がれ落ちることは無いので歯ブラシで力を入れすぎずに擦り取らなければ有害です。

歯医者で定期健診を受けてみかけているかのチェックとみがき残しや歯石を取ってもらい、ただで出血しやすい歯ぐきにしておかないようにしましょう。

原記

歯みがきはむし歯や歯周病予防(治療)として歯や歯の周囲の細菌の塊をこすり取ることと歯ぐきの刺激、マッサージが目的です。

歯周病菌は血液を栄養にして増えますから、細菌が付着し、ただで出血しやすい歯ぐきにしておかことが大切です。

歯みがきは歯垢を取ることで、歯垢が落ちるので強くこするのは皮膚に良くなく、洗い流すくらいでいいのですが、歯垢と表現された細菌の塊は自然に剥がれ落ちることは無いので歯ブラシで力を入れすぎずに擦り取らなければ有害です。

毎日歯みがきをしている人は95%以上という統計があります。



歯科衛生士
原 志乃

歯周病予防(治療)としての歯みがき

第50回

シリーズ



外来診療案内

平成28年7月4日現在（都合により変わる場合があります。）

		月 曜 日		火 曜 日		水 曜 日		木 曜 日		金 曜 日		
		午 前	午 後	午 前	午 後	午 前	午 後	午 前	午 後	午 前	午 後	
		担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	
内 科	診療開始 9:30/13:30	内 科	診療室		藤 瀬		藤 瀬	石井（循） （出張医）	藤 瀬		藤 瀬 予約患者のみ	
循 環 器 内 科	1 診	伊 藤		堀 田		伊 藤	大 畑 （ペースメーカー外来）	大 畑 （ペースメーカー外来） 第1・第3週		堀 田		
	2 診	大 畑		吉 田		神 山		吉 田		大 畑		
	3 診	大 岩		大 岩		大 岩						
	4 診	加 藤		松 本		加 藤		松 本		神 山		
神 経・精 神 科	4 診										出張医 注④	
呼 吸 器 内 科	診療開始 9:30/13:30 新患受付 午前 11:00 まで	1 診	中 村	菊 地 （出張医）	河 井	猪 狩	中 村	小 栗 （出張医） 予約・新患は紹介患者のみ	河 井	鈴 木 （出張医）	河 井	猪 村 （出張医）
消 化 器 内 科	3 診	奥 田		渡 邊		山 田		渡 邊		山 田		
	4 診	南		伊 藤		南		濱 口		奥 田		
	5 診	出張医		高 橋		出張医		出張医		伊 藤		
血液腫瘍内科	診療開始 9:30/13:30 新患受付 午前 11:00 まで	2 診	小 野 （移植外来）	蟹 澤 （移植外来）	蟹 澤	出張医	小 野	蟹 澤	蟹 澤	小 野		不 定
外科・呼吸器外科	2 診	狭 間	真 木	鯉 沼		狭 間	松 井	岩 井 （11:00 まで）		渡 邊	鯉 沼	
	3 診	渡 邊		岩 井 （11:00 まで）		岩 井	岩 井 乳腺外来 新患のみ	真 木		松 井	岩 井 緩和ケア外来 完全予約制 13:30～15:00	
心臓血管外科	診療開始 9:30	1 診	牧 野			牧 野				飯 島	稗 田 （静脈瘤外来）	
脳 神 経 外 科	診療開始 9:30 受付 11:00 まで	1 診	外 山	外 山 新患・予約のみ	大川／木村 （出張医）	外山／本間 MRI・新患・予約のみ 不定期	三上／鰐淵		外山／宮田 不定期	外山／宮田 新患・予約のみ 不定期	本 間	本 間 新患・予約のみ
神 経 内 科	2 診		外 山 新患・予約のみ		外山／本間 MRI・新患・予約のみ 不定期	下 濱 （出張医）隔週（認知症）		久 原 （出張医）	外山／宮田 新患・予約のみ 不定期		本 間 新患・予約のみ	
整 形 外 科	1 診	鈴 木	鈴 木 （スポーツ外来）	鈴 木		鈴木／西尾 （奇数日／偶数日）		鈴 木	西尾 （スポーツ外来）	西 尾		
	2 診	西 尾		松 前		松 前		西 尾		松 前		
産 婦 人 科	1 産	田 中	不 定 （産後検診のみ）	玉 城		山 口		勘 野		野 村 受付 10:00 まで		
	2 婦	野 村		勘 野		野 村		山 口		田中／玉城		
	3 診	不 定		不 定		不 定		不 定				
眼 科	1 診	北 谷		北 谷		北 谷	北 谷 （予約患者のみ）	北 谷		北 谷		
	2 診	栗 山		栗 山		栗 山	栗 山 （予約患者のみ）	栗 山		栗 山		
耳 鼻 咽 喉 科	1 診	大 高		大 高		大 高		大 高		大 高	大 高	
	2 診	佐々木 （第4週は1診のみ）		佐々木 （第4週は1診のみ）		佐々木		佐々木		佐々木	佐々木	
皮 膚 科	診療開始 9:30 受付 11:00 まで	1 診	出張医 （新患は紹介のみ）			出張医 （新患は紹介のみ）				出張医 （新患は紹介のみ）		
泌 尿 器 科	1 診	田 口		加 藤	不 定 予約患者のみ	田 口		不 定	不 定 予約患者のみ	不 定		
	2 診	不 定		不 定		不 定						
小 児 科	1 診	小 林	福 島	小 林	不 定 （エコー外来・予約）	小 林	不 定 （乳児健診） 〈予防接種〉 14:00開始	近 藤		小 林	近 藤	
	2 診	福 島	小 林 （神経外来・予約）	福 島		近 藤 （10:30～）		出張医 不定		不 定 〈予防接種〉 13:30～ 14:30	出張医 不定	
	3 診		不 定 （1ヶ月健診・予約）				石 津 内分泌外来 月1回 予約患者のみ					
	4 診				泉 心臓外来 月1回 予約患者のみ		岡 本 腎臓外来 月1回 予約患者のみ					
放 射 線 治 療 科	診療開始 9:00/13:30	2 診	出張医	不 定	北 原	北 原	北 原	北 原	北 原	北 原	出張医	不 定 午後診療 完全予約制
麻 酔 科	1 診	田 中				渡 辺				田 中		
	術前診察											
歯 科	1 診	岡 田	岡 田	岡 田	岡 田	岡 田	岡 田	岡 田	岡 田	岡 田	岡 田	岡 田 14:00～
	2 診	出張医	出張医	出張医	出張医	出張医	出張医	岡 田	岡 田	岡 田	岡 田	岡 田 14:00～

【ご注意】

- ①都合により診療時間、医師が変わる事がありますので、あらかじめご了承ください。
 ②初診受付時間、午前（8：30～11：00）午後（13：00～15：00）
 但し、各診療科及び医師により異なる場合があります。

- ③再来機受付時間、午前（7：00～11：30）午後（12：15～15：00）
 ④神経・精神科と神経内科は、当院他科医師の紹介が必要。新患は受け付けていません。
 ⑤歯科は予約制になっております。

看護の日



近代看護を築いたフローレンス・ナイチンゲールの誕生日にちなみ、5月12日は看護の日に制定されました。今年度当院では、5月13日に記念行事を行いました。

ふれあい看護体験では、市内の看護師をめざす高校生20名が参加し患者さまと貴重な時間を過ごしました。

エントランスホールでは、健康チェック・フットケア外来コーナーなど「看護の日」を盛り上げるイベントを行いました。その中でも、職員による「ナースの小さな音楽会」は沢山の方に来て頂き好評を得ました。



予防健診のお知らせ

- 健診日：月曜から金曜日
- 時 間：午前8時～12時頃まで
- 1. 一般健診 22,831円
- 2. 日帰り人間ドック 30,240円
- 3. 追加項目
 - ①乳がん検診
(2方向 5,657円・1方向 4,629円)
 - ②子宮がん検診 5,997円
 - ③PET-CT検診 94,629円
 - ④その他
- 4. その他

~~~~お気軽にお問い合わせ下さい~~~~

申込み・問い合わせ先

健診センター：☎0144-32-8111(代)  
内線 295・296

## 夏祭り

7月2日に19回目となる夏祭りを開催いたしました。

利用者の皆様には苦小牧プラスサウンズの皆様の演奏や職員の余興を楽しんでいただきました。

その日はあいにくの雨模様でしたが、多くのボランティアの皆様の協力もあり、盛会のうちに終えることができました。



## 糖尿病教室のお知らせ

下記の日程で開催します。参加費 無 料  
どなたでも参加できます。

お気軽にご参加ください

○開催日：平成28年 8月19日(金)  
9月16日(金)  
10月21日(金)

○時 間：午前10時30分～  
○場 所：王子総合病院 講堂(3階)  
○講 師：医師、理学療法士、薬剤師  
管理栄養士、看護師  
歯科衛生士、臨床検査技師

※直接会場において下さい。

※講師の都合により開催中止の場合もありますので

問い合わせ先

療養指導室：☎0144-32-8111(代)  
内線262

「らいふ」の掲載内容についてご意見、ご要望がございましたら遠慮なく事務局までお申しつけ下さい。